

1.年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	100～	計
患者数	-	17	55	35	56	96	151	282	502	389	15	1,598

※患者数が10未満の場合は-(ハイフン)で示してあります。

解説
2025年度に当院を退院された患者さんを10歳毎の年齢区分で集計してあります。
80歳代の患者さんの割合が最も多く約30%を占めています。次に90歳代の患者さんの割合が約24%、80歳以上の患者さんは全体の56%です。
当院では一般病棟と地域包括ケア病床を有し、急性期治療から在宅復帰までを支援する病院です。
又、当院関連施設と連携して地域に根ざした医療活動を展開しています。

2.診断群分類別患者数(診療科別患者数上位)

内科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者パス
1	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	38	22.58		18.42%	88.00	
2	100380xxxxxxxxxx	体液量減少症	37	24.62		21.62%	85.59	
3	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	25	24.24		8.00%	80.76	
4	0400802499x0xx	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	24	13.21		4.17%	85.00	
5	170020xxxxxx0x	精神作用物質使用による精神及び行動の障害 定義副傷病なし	19	1.42		0.00%	31.26	
6	050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし他の病院・診療所	16	16.31		0.00%	89.63	

解説
誤嚥性肺炎の患者さんの占める割合が最も高く、全体の約10%を占めています。誤嚥性肺炎とは、食べ物や唾液などが誤って気道内に入ってしまうことから発症する肺炎のことです。飲み込みに関する機能が低下することが背景にあることから患者さんの年齢も高齢になっております。
次いで多いのが腎臓又は尿路の感染症 です。

呼吸器

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者パス
1	0400802499x0xx	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	12	19.75		0.00%	86.92	
2	100380xxxxxxxxxx	体液量減少症	7	30.57		42.86%	85.86	
3	060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	5	13.80		20.00%	78.40	
4	040150xx99x0xx	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術なし 手術・処置等2なし	4	29.00		50.00%	66.75	
5	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	4	3.75		0.00%	57.25	

解説
誤嚥性肺炎と市中肺炎が最も多く、市中肺炎とは、自宅などで生活していてかかる肺炎のことで、病院に入院していてかかる院内肺炎と区別されます。

循環器科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者パス
1	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	18	86.17		11.11%	86.17	
2	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	15	17.40		6.67%	91.47	
3	100380xxxxxxxxxx	体液量減少症	14	17.21		28.57%	86.64	
4	050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし他の病院・診療所	9	16.00		0.00%	84.78	
5	170020xxxxxx0x	精神作用物質使用による精神及び行動の障害 定義副傷病なし	8	1.50		0.00%	42.25	

解説
腎臓または尿路の感染症の患者さんが、高い割合を占めています。
腎臓または尿路の感染症は微生物が引き起こす感染症の一つです。尿道から侵入した微生物は尿路を上の方に移動して膀胱に到達して、ときには腎臓にまで到達します。
悪寒、発熱、腰部痛、吐き気などが最初の症状になります。
次いに多いのが誤嚥性肺炎になります。

外科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者パス
1	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし	34	13.88		11.76%	86.88	
2	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	29	4.41		0.00%	75.90	
3	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	28	11.50		28.57%	68.82	
4	060150xx02xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの等	20	9.35		5.00%	54.90	
5	060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	19	8.58		0.00%	54.32	
6	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切	18	4.28		0.00%	81.22	

解説
最も多いのが、胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術です。次に多いのが鼠径ヘルニア手術、さらに腸閉塞とつづきます。

整形外科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者パス
1	160800xx02xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	176	32.72		49.43%	84.30	
2	160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）手術なし	40	22.00		27.50%	84.75	
3	160760xx01xxxx	前腕の骨折 骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨等	31	7.42		9.68%	71.84	
4	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等2なし	18	31.44		33.33%	86.56	
5	070343xx99x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等	16	18.56		0.00%	77.94	
6	160720xx01xxxx	肩関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿等	15	15.53		13.33%	66.67	

解説
全体の約38%を股関節・大腿骨の骨折における疾患で占めています。
治療に際して、リハビリは術後より介入し早期の機能回復、社会復帰に努め日常生活動作や生活の質の向上を目指しております。

3.初発の5大ガンノUICC病気分類並びに再発患者数

	初発					再発	病気分類基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	StageⅣ	不明			
胃がん	2	1	－	－	－	2	1	8
大腸がん	－	6	13	6	－	5	1	8
乳がん	－	－	－	－	－	1	1	8
肺がん	－	－	－	－	－	－	1	8
肝臓がん	2	1	－	2	－	3	1	8

※1:UICC TNM分類、2:癌取扱い規約
※患者数が10未満の場合は-（ハイフン）で示しております

解説
5大癌といわれる胃がん・大腸がん・乳がん・肺がん・肝がんの初発病期分類と再発数を示したものです。
がんの進行速度はUICC(国際対がん連合)が定めるTNM分類が用いられています。TNM分類とはT:原発巣の大きさと進展度 N:所属リンパ節への転移状況 M:遠隔転移への有無の3つの判断基準を指し、それぞれのがんをI期(早期)～Ⅳ期(末期)の病期に分類しています

4.成人市中肺炎の重症度別患者数等

重症度	度数	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	0	20	24.25	84.80
中等度	1-2	38	16.47	84.11
重症	3	8	13.88	78.00
超重症	4	3	45	87.00
不明		－	－	－

解説
市中肺炎とは、自宅などで生活していてかかる肺炎のことで、病院に入院していてかかる院内肺炎と区別されます。
重症度については、肺炎重症度分類（A-DROPシステム）に基づき入院時の状態から決定をしています。

5.脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	9	31.44	89.22	33.33%
その他	7	13.57	74.00	100.00%

6.診療科別主要手術別患者数等(上位5位まで)

内科

Kコード	名称	患者数	平均年齢	平均術前日数	平均術後日数	転院率	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	5	82.00	29.80	27.60	40.00%	
K0004	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径5cm未満）	1	84.00	0.00	2.00	0.00%	
K735-4	下部消化管ステント留置術	1	91.00	29.00	8.00	0.00%	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	1	57.00	0.00	11.00	0.00%	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル未満）	1	72.00	0.00	1.00	0.00%	

呼吸器科

Kコード	名称	患者数	平均年齢	平均術前日数	平均術後日数	転院率	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	2	86.00	14.50	42.00	0.00%	

循環器科

Kコード	名称	患者数	平均年齢	平均術前日数	平均術後日数	転院率	患者用パス
K0001	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm未満）	1	42.00	1.00	21.00	0.00%	

外科							
Kコード	名称	患者数	平均年齢	平均術前日数	平均術後日数	転院率	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	52	79.56	5.04	12.38	67.31%	
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	29	83.93	6.31	12.86	13.79%	
K718-22	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	19	54.89	1.32	7.05	0.00%	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	18	73.78	0.94	2.00	0.00%	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチメートル未満）	18	79.50	1.33	5.17	0.00%	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	16	37.63	0.38	3.06	0.00%	

整形外科							
Kコード	名称	患者数	平均年齢	平均術前日数	平均術後日数	転院率	患者用パス
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	113	83.21	4.28	24.04	38.94%	
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	82	81.94	5.17	27.85	54.88%	
K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	44	71.39	1.84	8.57	9.09%	
K0483	骨内異物（挿入物を含む。）除去術 前腕、下腿	24	65.04	1.96	3.38	0.00%	
K0463	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く。）、足、指（手、足）その他	12	62.25	1.58	7.42	8.33%	

7.その他(DIC、敗血症、その他の心筋症および手術・術後の合併症の発生率)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	1	0.06%
		異なる	0	0.00%
180010	敗血症（1歳以上）	同一	4	0.25%
		異なる	3	0.19%
180040	手術・処置等の合併症	同一	6	0.38%
		異なる	0	0.00%